

施策番号 4-1-2	施策名 消防・救急の充実	基本目標	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり			
		政策名	安全・安心に暮らせる生活環境づくり			
	主管課	芽室消防署	課長名	松久哲也	内線	62-5377
	施策関係課	総務課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果
災害の拡大防止と、緊急時の迅速かつ的確な対応に向けた備えをすすめます。		町民、消防・救急体制	<ul style="list-style-type: none"> ・予防意識の醸成と、災害・緊急時の迅速かつ的確な支援 ・消防・救急体制の充実を図る 					町民の生命・財産を守る
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度目標	
① 住宅用火災警報器の設置率	消防署調べ	%	77.05	68.0	63.0	70.0	90.0	
② 火災出動件数	消防署調べ	件	8	8	14	20	10	
③ 防火講習会・普通救命講習会参加者数	消防署調べ	人	2,603	1,200	165	388	2,200	
④								
成果指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ①1年7%上昇を目標として算出したもの。 ②近年の火災出動の動向を基に目標値を算出したもの。 ③自主防災組織数の増加による参加者増を見込んで算出したもの。 							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算
施策事業費(千円)	376,801	419,210	367,411	353,633
人工数(業務量)				

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2021年度の成果評価(前年度との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①過去8年間の調査結果から芽室の設置率は約70%。毎年度調査結果が上下しているが調査方法の振れ幅と考える。 ②③新型コロナウイルス感染防止対策として各種事業を中止したことが要因と考える。
②2022年度の目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①従来の取り組みの他、設置調査を通じて住警器の必要性について認知度向上に努める。また、新たな取組みに向けて関係各課と協議を推進する。 ②ゴミ焼について役場・警察と連携を図り、事業所に対する査察を強化し、消防独自の防火パトロールを推進し火災減少を目指す。 ③役場と連携を図り、町内会・自主防災組織・企業へ各種講習会開催の働きかけを強化する。
(2) 施策の成果評価に対する2021年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芽室消防署活動事業 芽室消防団運営事業 芽室消防施設整備事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ・配備から28年経過し経年劣化が激しく運用に支障が出てきた化学消防車を、複雑多様化している災害へ対応できる装置・資機材を装備した新型化学消防車へ更新した。 ・消防団員へ貸与して10年以上経過した活動服を、総務省消防庁「消防団員の装備の基準」を基に安全・機能性を向上させたモデルへ更新することで、災害活動等における消防団員の負担軽減を図った。 ・各種災害対応訓練を計画的に実施し、学校派遣・救急救命士病院実習・酸素欠乏危険作業特別教育を受講させるなどして、災害現場における消防職員の安全・迅速な活動を遂行する能力が向上した。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)							
担当課 評価	コロナ禍で達成できない成果もあるが、災害対応能力は向上している。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	

A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化に伴う人口の減少と高齢者人口の増加。 →救急出動に占める高齢者割合の高さと出動件数の増加。 →消防団員の定数確保と高齢化が課題。 <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芽室町及び近隣市町村の少子高齢化が進むことで救急出動件数は更に増加する。 ・65歳で定年を迎える消防団員が毎年度続くことから、新規消防団員確保の取り組みを強化する。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ●火災発生の防止対策(芽室消防署活動事業) ゴミ焼が原因の火災発生を抑止するため、事業所や農業従事者に対する予防講習会開催について検討する。 ●住宅用火災警報器の普及促進及び維持管理の推進(芽室消防団運営事業) 新たな取り組みとして、後期高齢者である75歳以上を住宅火災から守るために必要な支援の在り方について関係各課と協議を推進する。 ●救急車の計画的な更新(芽室消防施設整備事業) 増加する救急出動へ支障が出ない様にするため、車両の損耗状況と耐用年数を基に更新計画を作成して更新事業を推進する。

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等から、維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	担当課評価、庁内評価同様に、維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	消防団員の定数確保と高齢化が課題とし、今後の予測として新規消防団員確保の取り組みを強化すると記載しているが、切迫した問題ではないか。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					